

# 横浜市立平沼小学校

## 平成28年度 学力向上アクションプラン

### 1 中期学校経営方針

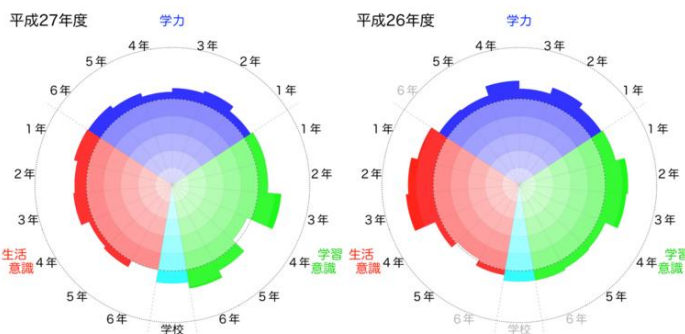
#### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○ 子どもが期待して登校し、熱中して学び、満足して帰る学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが自分のよさを生かして学びを創る授業づくりが推進され、学力・体力の向上が図られています。</li> <li>・ 多様な集団の中で一人一人が大切にされ、安心して楽しい学校生活を過ごせるようにしています。</li> <li>・ 地域・保護者と連携・協働して、社会の要請や期待に応える学校づくりが行われています。</li> </ul>	

#### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p><b>確かな学力 (学習指導)</b></p> <p>担当 研究部</p>	<p>子どもが自分のよさを生かして学びを創る授業づくりを進め、学習の習慣を身に付け、主体的に学習に取り組む力を育てています。</p>	<p>①学び合い、高め合う授業の追究 ②学力・学習状況調査の結果分析の周知とデータに基づく指導の重点化 ③個に応じた指導の充実 (スタディルームの継続) ④朝のドリルタイム・本よみタイムの充実</p>

### 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



#### (1) 学力の概要と要因の分析

どの学年も横浜市の中では平均以上の学力であるといえる。学力・学習状況調査問題の出題範囲は授業中に学習している内容である。したがって、日々の授業をしっかり行っていくことがこのような結果につながっていくといえる。このグラフはあくまで学年の平均であり、個々の児童までは見取ることができない。個々の児童に配慮した指導もまた必要となる。

#### (2) 教科学習の状況

- 国語科：「言語」や「書くこと」だが、どの学年も横浜市の平均よりも高い結果となっている。
- 算数科：「算数の勉強が好きですか」等の算数科に対する意識が、多くの学年で市の平均より低い。
- 社会科：中高学年ともに意識を高くもって授業を受けており、教科を好きになっている児童が多い。
- 理科：「思考・表現」が高い結果となった。今後も、普段の授業における指導法の工夫を図っていく。

#### (3) 経年変化の状況と要因の分析 (学習・生活意識調査も含めて分析)

学校全体として学習意識面においては国語科・社会科・理科の意識は高い傾向にある。算数科では、学習が好きな児童が増えるような指導法の工夫、また、自分の考えを絵や式・言葉で説明することができるような指導法の工夫が必要となる。生活意識面では、平沼のまちの行事が多いことも挙げられるが、「校外生活」の調査では、「まちの行事に参加していますか」の質問に対し、多くの子どもの回答が高い値になっている。地域の中で育ち、地域とともに学ぶことができている。また、学校図書館に行くことが好きな児童が多いが、そのことと1日の読書時間は比例してはいない。学校としての取組も引き続き力を入れていきたい。

### 3 平成28年度 学年・教科等としての具体的取組

#### 1 学年

- 国語科、算数科ともに「分かる授業」を心がけていく。明瞭な発問・指示による授業展開をしていく。
- 一人ひとりの資質や能力を踏まえ、授業の中で活躍場面を意図的に作り出し、児童が自己肯定感をもてるようにする。

#### 2 学年

- 国語科では意識も高く、学力が付いてきているといえる。書く活動では、スモールステップを意識し、書き方を身に付けられるような指導法を工夫していく。
- 算数科では、計算力を身に付け、算数の楽しさを味わうことのできる指導法を工夫していく。

#### 3 学年

- 国語科では登場人物の行動を中心に、文章を読み取る力を高めていく。また、書く活動においては、中心を明確にして書けるようにする。
- 算数科では数学的な考え方を必要とする学習内容において「分かる・できる体験」を数多くさせ、算数が好きになるような指導法の工夫をしていく。

#### 4 学年

- 国語科・社会科・理科の意識がとても高いため、引き続き、児童が授業の楽しさを感じながら、技能を身に付けられるような指導をしていく。
- 算数科では、スモールステップを意識し、算数に興味をもち、より学習内容が身に付けられるような指導法の工夫をしていく。

#### 5 学年

- どの学習でも、発表する機会を意識的に増やし、「分かる・できる」場面を作り、自己肯定感が高まるような指導法の工夫をしていく。
- 社会科では、学習内容がふだんの生活に大きくかかわっていることが分かるような授業を展開していく。

#### 6 学年

- 授業の中で友だちと関わる場面を大切に、それぞれの考えの違いや良さを実感できるような指導法の工夫をしていく。
- どの学習でも指導計画にそって計画的に授業を進め、基礎基本の定着を図ることができるようにする。特に理科については技能面の学習内容を身に付けられるような指導法の工夫をしていく。

#### 個別支援学級

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設けるようにする。
- 子どもの発達段階に応じて、各学年の取組を参考にし、必要な取組を行うようにする。
- 自己肯定感を高める対応を心がけ、子どもが自信をもって学習に取り組めるようにする。